

# 菜

なたね

# 種

編集と発行 

北栄町農業委員会  
北栄町土下112 (北条庁舎)  
(0858) 36-5567

## 「松本町長を囲んで いただきます」

1月31日、JA学校給食会のメンバー20名が、松本町長とともに北条小学校学校給食試食会に参加しました。1年生から6年生の教室にそれぞれ案内され、子どもたちの素直でかわいい質問に答えながら、会員たちが手塩にかけて育てた野菜の料理に満足しながら楽しい時間を過ごすことができました。

「いただきます」と言ったらとたんにおかわりにいく子どもたちの姿に、なんともいえない嬉しさが込み上げてきました。

いただきます・・・とは

自分の命を提供する  
お肉にいただきます  
お魚にいただきます  
野菜にいただきます  
お米にいただきます  
野菜を作つてくださる農家の方にいただきます  
おいしく料理してくださる調理人の方にいただきます

ありがとうと感謝して「いただきます」を言つのだと子どもたちから教えられました。  
食へることは生きることにつながります。未来ある子どもたちのためにも、安心できる安全な野菜を自信を持って作り続けていこうと感じた大変楽しい一日でした。

(淀瀬 千賀子)

### 優秀農業川柳

1月28日(金)に行われた「農業が結ぶ・地域のきずな」オール北栄アグリフォーラム」で募集した農業川柳の受賞作品から一部をご紹介します。

【優秀賞】 小中学校の部

黒ぼくの 大地にそだつ 野さいたち

一粒に 込めた愛情 いただきます  
濱本 祐輔(大栄小学校)

農業で 野菜豊かな 町づくり  
井上 豪志(北条中学校)

南場 淳一(大栄中学校)

# 農業が結ぶ・地域のきずな 「オール北栄アグリフォーラム」開催!

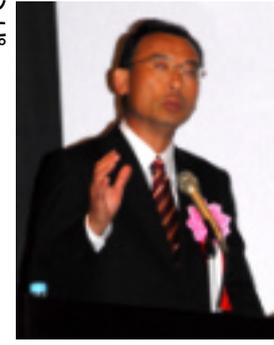
これからの北栄町農業・地域社会の展望を開くことを目的に「オール北栄アグリフォーラム」を平成23年1月28日(金)午後1時30分から大栄農村環境改善センターで開催し、約300人が参加しました。

フォーラムでは、長野県 農業生産法人(有)トップリバー代表取締役社長 嶋崎秀樹氏を講師に迎え、「今

## 「オール北栄アグリフォーラム」に参加して

### 認定農業者協議会 会長 石井 通人

講演で農業法人トップリバー代表取締役社長嶋崎秀樹氏の「いまの日本農業は補助金漬けで過保護になっており、糖尿病になっている。北栄町の農家は作ることに限ってはプロだが、販売をJAに任せているだけではダメだ。販売にも関心を持つべきだ。」という講演内容に、まさしくそのとおりだと痛感しました。



農業生産法人(有)トップリバー代表取締役社長 嶋崎 秀樹氏

また、意見発表では、3名の方々の熱意をひしひしと感じ取りました。

「夢のある者には希望がある」「希望のある者には目標がある」「目標のある者には計画がある」「計画のある者には行動がある」「行動のある者には

後の農業・経営のあり方in北栄町」と題した講演が行われました。

また、フォーラムにあわせて募集した農業川柳優秀作品の表彰や北栄町の農業者3名の意見発表、福々亭金太郎氏による食育落語「いただきます」、地元農産加工品の展示即売、パネル展示なども行われました。

は実績がある「実績のある者には反省がある」「反省のある者には進歩がある」「進歩がある者には夢がある」

逆に、「あるが「ない」になったら、こんなに恐ろしいことはない、ともおっしゃいました。こんな素敵な方やメッセージに出会える機会もいただき感謝です。

福々亭金太郎氏の食と農をテーマにした落語では、日常生活の中にあふれる話題などを盛りだくさん、楽しく聞かせていただきました。また、ホールでの加工グループによるプレゼン(お土産)やカレー、牛骨ラーメンの試食展示会での「こころ温まる」「おもてなし」ありがとうございました。来年もよろしくお願ひしますね。

初めてのアグリフォーラムに楽しく参加させていただきました。来年に向けて、より多くのふれあいとこころ温まる大会にしてください。

### 意見発表者 手島 寿恵さん



竹信 慶一さん



日置 健生さん



## TPP 環太平洋連携協定 食への影響は?

政府は昨年11月にTPPについて情報収集のため関係国との協議を開始し、今年6月をめどに農業対策の基本方針を定める予定です。TPPとは「例外なき関税をすべてゼロにする協定」であり「物品貿易(農業製品、工業製品、資源製品等)のほかサービス貿易、政府調達、競争、知的財産、人の移動などの非関税障壁を含めた24項目」です。

TPPを単に農業分野だけの問題と捉えるのは間違いです。例えば「米1kg」がA国では300円、B国では200円で売られていたとします。A国にB国の「米」がたくさん入ってくれば、安いB国のものばかり売れてA国の「米」生産者は廃業を余儀なくされま

す。そこでA国は「米」生産者を守るために輸入する時に100円の税金をかけ、価格を釣り合わせます。これが関税です。B国から見れば関税があるためにA国に「米」がたくさん売れず、消費者も安い「米」が手に入りません。

この様な関税をすべてゼロにしようという約束です。関税を無くすることで貿易が活発になり、参加した国の経済を発展させることが目的です。しかし、農業はいくら努力、工夫しても限界のある産業であり、自然や環境、土地の条件によって形態が違うのが農業です。

これまで日本はWTO(世界貿易機構)のルールに基づいて主食の米などの農畜産物は重要品目として高い関税をかけて守ってきたのですがTPPでは関税についての特別扱いは一切なしです。参加を決めれば全品目の80%はすぐにゼロに、残り20%は原則10年以内にゼロにしなればなりません。すべての関税をゼロにするTPPを結

ぶと農業・農村は壊滅的な打撃を受けて国土は荒れ果ててしまいます。農水省の試算では食料自給率(カロリーベース)40%から14%まで下がること発表されています。また国全体の農畜産物が4兆1千億円減って約半分になり、主食である米は1兆9千億円も減ってしまいます。

有機米等の付加価値の高い米を除いて90%が輸入品に代ります。自家用を除いて日本の米で残るのは10%ほどになり、水田の90%が荒れ地になりかねない状況です。米以外の農業で牛肉の3/4、乳製品のバター等、砂糖に至ってはすべて輸入品に代ってしまいます。人が生きていく上で絶対に欠かせないものが食べ物です。内閣府の世論調査でも国民の90%が国産品を望んでいて、農業生産者の努力により「食の安心・安全」が確保されています。

また農業のもつ役割は食べ物を作るだけではありません。さまざまな生き物が住める環境を作り、洪水や土砂災害も防ぐ多面的な機能を持っています。日本の国土が急峻で川は急勾配で流れています。田に水をためることで洪水や土砂災害を防いできました。

農業生産が大きく減ると農産加工や流通業などの地域経済全体に影響が及び、農水省の試算では340万人が職を失い、農業が高いウエートを占めている地域は存続問題に発展しかねないのです。

前述はほんの一部ですが、TPPに参加すれば農業だけでなく他産業にも多くの問題が発生し、国の根幹にかかわってきます。

「食の安心・安全」そして私たちの生活の安定のために断固としてTPPへの参加を阻止しましょう!

(河原廣美)



加工グループによる試食

## がんばってます 農業後継者！ (有)村岡オーガニック 村岡 朋典(東高尾)

時間の経過とは早いもので、私が就農(就職)してもう1年10カ月が経とうとしています。私が就職した(有)村岡オーガニックは、スイカ苗と花壇苗を中心に栽培を行っている農業法人です。また、村岡オーガニックでは10年ほど前より、花卉の育種(品種改良)を行っています。私の主な仕事は農場での作業、書類作成(品種登録品評会、販売資料など)、栽培調査、市場やさまざまなイベントでの商品のPR活動、そして、営業です。

私が就農した年は、弊社にとつてとても大事な年でした。それは、10年かけて育種を行ってきたペチュニア『マドンナの宝石ピンク』を初めて世の中に送り出した年だからです。就農初年度は、日常の作業以外にも品種登録のための調査や書類作成を行い、品種登録出願受理された時は、ホッとしたのを覚えています。二年目は、園芸雑誌への初PR広告の掲載、それに伴い商品の全国発送を可能にしました。また、オ

リジナル品種の知名度アップを考え日本で唯一の花卉品種品評会(フラワーセレクション2020)への出品を行いました。入賞すら難しいと思っていたフラワーセレクションでは、花壇・コンテナ苗等部門において初出品でペチュニア品種では初となるフラワー・オブ・ザ・イヤー(最優秀賞)を受賞するというすばらしい結果を頂きました。

本年は受注生産体制を整え計画的な生産ができるように頑張っていきたいと考えています。今思うと、何もかもが手探りで右も左も分からずとにかく走ってきたように思います。その都度、多くの方々から助言と励ましの言葉を頂きたくさんの元気を頂きました。本当に感謝しています。私は、就農前に13カ月間オランダに農業研修(鉢物)に



行きました。私にとってオランダ農業や文化はとても衝撃的かつ刺激的でした。オランダ農業が必ずしも日本農業とマッチングするとは思いませんが、真似するべき点は多々あるように思います。

私は保育園のアルバムの将来の夢の欄に『のうぎょう』と書きました。そして、『オランダに行つて花の勉強をする』が次の夢になりました。今の夢は『夢を持てる農業のビジネスモデルを作る』です。何の産業であつても、次の世代が夢を持ってない産業は未来のない産業だと思えます。つまり、若者たちがもつと農業で夢を持ってなければ、農業の未来はありません。今の農業の現状がそうではないでしょうか？夢をみるためには、農業でしっかりと儲け、生活する必要があると、労働に見合った儲けを得れば後継者はおのずと増えていくと思います。

現在、農業は変化の時期を迎えているのではないのでしょうか？いかにそれに柔軟に対応できるかが今後の力ギとなると思います。大きな事を書きましたが、私もまだまだ未熟者です。でも、だからこそ挑戦できることもあります。今後も夢に向かい日々精進していきたいです。



下種地域ふるさと保全会は、農地・水・環境保全向上対策事業において、中国四国農政局長最優秀賞を受賞されました。

これは、中国四国各県の代表9地区が審査を受け、1次審査で2位、2次審査で3位以内が確定し、最終審査で最優秀賞を受賞されたものです。

この活動には、茶や茶、上種(3戸)、岩坪(4戸)の皆さんも参加され取り組んでこられました。11月2日の徳島の大会では、小学6年生を中心にスライドを使って活動報告をされました。地域の皆さんの団結した活動が高く評価されました。おめでとうございます。

(齋尾智弘)



### 雪害によるぶどうハウス撤去作業

## 援農感謝いたします！

大晦日から元旦にかけて、鳥取県は全国ニュースになるほどの豪雪となり、農業関係にも大きな被害が出ました。平成17年の大雪の時のようなハウスの倒壊が起こらないよう、生産者はハウス棚に積もった雪かきをしましたが、ぶどうハウスが1件全倒壊しました。

平井県知事、松本町長の状況視察もあり、1月24、25日に県、町、JAの職員と生産者による援農隊が結成されました。1月24日は晴天でしたが、積雪の中では大変きつい作業だったと思います。1月25日は雪が降っていました。両日の援農隊の方々のおかげで、怪我もなく撤去作業は半日で終了しました。また、江北浜の女性部が中心となり、北条ぶどう女性部のまかない隊も結成され、寒さで疲れた身体にあたたかいお汁をふるまわれました。江北浜担当農業委員として各方面のボランティアの方々、また心配してくださった住民の皆様にご感謝申し上げます。

(淀瀬千賀子)



# 農地流動化情報

各集落や地区内における農地の売買契約、貸借契約に至らなかった土地について、地区外などからも広く対象者等を募ることを目的として、流動化の情報を公開します。

詳細については「農地流動化情報台帳」として農業委員会でご覧いただけます。

買い手、借り手の方については、耕作面積等農家要件が必要です。

掲載を希望された情報です。

《売りたい・貸したい》

|   | 農地の所在       | 地目 | 面積(a) |
|---|-------------|----|-------|
| 1 | 江北開留メ       | 畑  | 1 1   |
| 2 | 江北応神道(売買のみ) | 畑  | 2 3   |
| 3 | 江北左右田(貸借のみ) | 田  | 1 4   |
| 4 | 田井西反田(売買のみ) | 田  | 1     |
| 5 | 弓原中沢(売買のみ)  | 田  | 2 2   |
| 6 | 弓原西沢(売買のみ)  | 田  | 4     |

## めぐりキッズスクール生徒募集はじまります！

「JAからのお知らせです」

JA鳥取中央は、未来を担う子どもたちに農業体験を通して「農業の大切さ」「食の大切さ」「いのちの大切さ」を伝えるため各種関係団体と連携をはかり、農業体験学習に取り組んでいます。

実施時期 平成23年4月～平成24年2月(原則第3土曜日)

開校式 平成23年4月29日(金・祝日)

対象者 JA鳥取中央管内に住む新小学3～6年生  
募集定員 20名 北条クラス(北条・大栄支所管内)

入校費用 6千円(活動費として) 授業内容により別途負担いただく場合があります

募集期間 平成23年3月1日(火)～3月31日(木) 定員になり次第締め切ります

その他 集合解散場所は最寄りのJA各支所となります

原則第3土曜日の午前中開催

圃場の生育状況等の関係により変更となる場合があります

問い合わせ先 JA鳥取中央 教育広報課 23 3012

支所組合員課 北条支所36・3321 大栄支所49・1153

## 改正農地法について ご存知ですか？

～農地法の改正点について、一部をご紹介します～

- 1 相続などで農地を取得した人は農業委員会へ届出が必要です。
- 2 農業生産法人以外の法人も、農地の借受が可能になりました。  
農地が適正に利用されていない場合に解除する条件が必要です。
- 3 農地の賃貸借の存続期間が50年まで設定可能となりました(果樹栽培等)。
- 4 標準小作料制度が廃止され、新たに賃借料情報を提供します。  
過去1年間の実績に基づき、平均額 最高額 最低額 をお知らせします。  
これをもとに双方の話し合いによって賃借料を決めていただく仕組みになりました。  
この情報については、町報4月号でお知らせする予定です。
- 5 遊休農地に関しては、農業委員会が指導、勧告することになっております。

内容等、ご不明な点や詳細については、農業委員会事務局へお問い合わせください。

## シリーズ 農業委員活動

今回は、シリーズでお伝えした農業者年金加入推進に関して説明します。

農業委員(会)は、老後のサポートとして農業者年金の加入推進をしています。

### 農業者年金とは

少子高齢化時代に強い積立方式です。

- ・ 将来の年金支給のため自ら積み立てる方式です。
- ・ 加入者数、受給者数に左右されにくく、現役加入者の保険料に依存しません。

保険料の額が自由に決められます。

(月額2万円～6万7千円)

終身年金で、80歳までに亡くなられても保障つきです。

公的年金なので、保険料は全額が社会保険料控除の対象となり、節税できます。

(要件を備えた)担い手には手厚い政策支援があります(保険料の国庫補助)。

## 〔編集後記〕

農業委員会より「菜種」創刊号を発行してちょうど1年がたちました。

表裏1枚のチラシのような広報誌からのスタートでしたが、それでは十分な情報が伝えられないの思いからページ数も増えました。

そして、1月末には農業委員も実行委員に加わり、「オール北条アグリフォーラム」が開催されました。北条町の農業生産者をはじめ、多くの方が参集して、有意義な一日を過ごすことができました。

その中で、記念講演をされた(有)トップリバーの嶋崎社長の話の中で「作物の不出来を天候のせいにするな」という言葉に、私は素直に反省することができました。

農業委員26名、これからも各地区での相談役となりがんばっていきます。

「菜種」をご覧の皆様、「意見」、「要望」がありましたら、事務局までお寄せください。

広報委員

淀瀬十賀子 河原廣美 前田清明  
森本真理子 大西仁美 齋尾智弘